

製品名: エンテロキナーゼ HC ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10482**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TMPRSS15
別名	TMPRSS15; ENTK; PRSS7; Enteropeptidase; Enterokinase; Serine protease 7; Transmembrane protease serine 15
遺伝子 ID	5651.0
SwissProt ID	P98073
免疫原	抗血清はヒト ENTK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

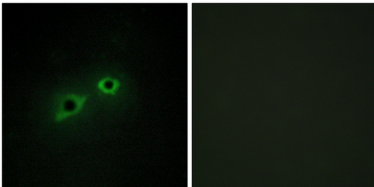
この遺伝子は、膵臓プロテソートリプシノーゼンをトリプシンに変換する酵素をコードしており、トリプシンはキモトリプシノーゼン

やプロカルボキシペプチダーゼなどの他のプロ酵素を活性化します。前駆体タンパク質は 2 本の鎖に切断され、ジスルフィド結合によってヘテロ二量体を形成します。このタンパク質はペプチダーゼのトリプシンファミリーに属します。この遺伝子の変異は、下痢と発育不全を特徴とする吸収不良疾患であるエンテロキナーゼ欠損症を引き起こします。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: 6-Lys-Ile-7 結合の選択的切断によるトリプシノーゲンの活性化。疾患: PRSS7 の欠陥はエンテロキナーゼ欠損症の原因です [MIM:226200];下痢と発育不全を特徴とする、生命を脅かす腸の吸収不良疾患。機能:膵臓のタンパク質分解プロ酵素 (トリプシン、キモトリプシン、カルボキシペプチダーゼ A) の活性化を開始する役割を担っています。トリプシノーゲンからトリプシンへの変換を触媒し、トリプシンは次にキモトリプシノーゲン、プロカルボキシペプチダーゼ、プロエラスターゼなどの他のプロ酵素を活性化します。PTM: 鎖は、トリプシン様プロテアーゼによって切断される単一の前駆体から派生しています。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。類似性: 1 つの MAM ドメインを含みます。類似性: 1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含みます。類似性: 1 つの SEA ドメインを含みます。類似性: 1 つの SRCR ドメインを含みます。類似性: 2 つの CUB ドメインを含みます。類似性: 2 つの LDL 受容体クラス A ドメインを含みます。サブユニット: ジスルフィド結合によって連結された触媒 (軽) 鎖とマルチドメイン (重) 鎖のヘテロ二量体。組織特異性:腸管刷子縁。

研究分野

-

画像データ



ENTK 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。